



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

CD56 ウサギモノクローナル抗体 (MRQ-42) (AT 用)

(動物種：ウサギ)

包装： 50 テスト (6.5mL)

Code： AT1819-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地 6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。

■特異性および抗原分布：ヒト CD56 抗原(Neural Cell Adhesion Molecule, NCAM)と特異的に反応する。CD56 抗原は、5つの免疫グロブリンと2つのファイブロネクチンタイプIIIドメインから成る膜貫通型糖タンパクで、同親性の細胞接着分子である⁽¹⁾⁽⁴⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾。選択的スプライシングによって主に4つのアイソフォームを形成する。造血系ではNK細胞と一部のT細胞、神経系ではニューロン、グリア細胞、シュワン細胞⁽⁷⁾等に、また骨格筋細胞に発現がみられる。腫瘍では、多発性骨髄腫⁽⁸⁾、骨髄性白血病、神経内分泌腫瘍⁽³⁾⁽⁴⁾、小細胞癌⁽⁴⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾、NK細胞リンパ腫⁽⁹⁾⁽¹⁰⁾、鼻ならびに鼻型NK/T細胞リンパ腫⁽⁹⁾、他T細胞性リンパ腫の一部、横紋筋肉腫などの中胚葉性腫瘍などにも反応がみられる⁽²⁾。細胞膜や細胞質に染色がみられる。

■クローン名：MRQ-42

■抗体のサブクラス：IgG1

■免疫原：ヒト CD56 分子の C 末端領域タンパク

■製法：培養上清から得ている。

1. 内容

第一抗体・・・CD56ウサギモノクローナル抗体(MRQ-42)(動物種：ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6.5mLを含む。

2. 使用目的

組織・細胞中のヒト CD56(NCAM)陽性細胞の染色。

3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
CD56-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	CD56-AT	20	25

5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

7. 参考文献

- (1) Bruce A., et al: Science 236 : 799-806, 1987
- (2) Gunhild N., et al: Cancer Research 51: 1300-1307, 1991
- (3) Robby E. K., et al: Bur J Cancer 27: 431-435: 1991
- (4) Rob M., et al: Int. J. Cancer 8: 34-37: 1994
- (5) Rita G., et al: Int. J. Cancer 8: 38-42: 1994
- (6) Olaf K., et al: Human Pathology 28: 1373-1387: 1997
- (7) Octavio T., et al: J Cutan Pathol 29: 397-406: 2002
- (8) Scott A. E., et al: American Journal of Pathology 160: 1293-1299: 2002
- (9) Jiangua T., et al: The American Journal of surgical Pathology 26: 111-118: 2002
- (10) Masahiko S., et al: Leukemia & Lymphoma 44: 201-204: 2003

■ 研究用としてのみ使用すること。